

## 平成26年度 指定管理者施設管理評価シート

部

福祉部

課

高齢福祉課

施設名称	〔10〕東京都台東区立老人福祉センター					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H23.4.1 ~ H28.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2)類似施設の管理実績	入谷老人福祉館・橋場老人福祉館・三筋老人福祉館					
(3)経営状況	(25年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入2,763,451,917円,歳出2,671,778,593円,収支差額91,673,324円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区東上野2-25-14					
(2)設置目的	地域の高齢者が、健康で明るく生きがいのある生活を送ることができるよう活動の場を提供する。					
(3)利用者	区内に住所を有する60歳以上の者及び60歳以上の者で組織する団体					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日 9時から21時まで					
(5)規模	延べ床面積 2,130.8㎡のうち1,311.48㎡ 鉄筋コンクリート造地上5階のうち1・2階の一部、3～5階部分 浴室、機能訓練室、茶華道室、教養室、談話室、囲碁将棋室など					
(6)人員体制	5名 内訳...常勤4、非常勤1					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	ことぶき教室(カラオケや麻雀等の教室)、敬老の集い(ことぶき教室受講生の発表会)、健康づくり事業(口腔機能向上教室等)、個人・団体への教養室等の開放、防災訓練等					
(2)自主事業	各種サロン(事前申込不要で気軽に参加できる活動の場。活動内容:健康体操、脳トレ、口腔ケア等の健康づくり 囲碁や麻雀等の趣味の活動)、地域・世代間交流事業等					
4. 予算決算の推移						
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	46,346,000	46,282,000	49,596,000	49,687,140	49,596,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	5,647,000	5,082,000	6,010,000	8,734,860	6,204,000
	管理経費	51,993,000	51,364,000	55,606,000	58,422,000	55,800,000
決算	委託料	46,281,320	46,282,000	49,596,000	49,655,892	49,596,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	5,917,140	6,486,580	6,300,232	6,235,158	6,182,000
	管理経費	49,618,354	51,428,989	54,959,471	51,761,935	51,709,297
	収支	2,580,106	1,339,591	936,761	4,129,115	4,068,703
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	
健康づくり(介護予防)事業実施回数	回	250	245	242	254	
ことぶき教室実施回数	回	180	180	180	180	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(27年度)	23年度	24年度	25年度	
利用者数	人	28,000	28,642	27,894	26,665	
健康づくり(介護予防)事業・ことぶき教室参加者数	人	6,100	6,027	5,859	6,090	

7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取組み

利用者の要望に応じて、自主事業であるサロンの内容を検討し、人気のある麻雀サロンの回数を増やした  
(24年度：年89回、25年度：年133回)

8. 評価項目  
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[2]
	(b)サービス水準	[2]	(g)自主事業の成果	[2]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[2]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・接遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[2]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[2]
	(c)利用者数の目標達成	[2]		
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行	[2]	(c)収支計画の達成	[2]
	(b)管理経費の効率化	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価  
 S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	利用者から人気のある麻雀サロンの実施回数を増やし、サロンの参加者数は増加した。老人福祉施設を統括する施設として、「敬老の集い」や「室内ゲーム大会」等の主要なイベントは中心となって開催している。
(2)施設の維持管理	A	建物保守や施設設備の定期的な保守点検、施設内の清掃委託等を適切に実施している。また、利用者の安全確保のため、自動ドアや非常灯の修理を迅速に実施した。
(3)利用者の満足度	A	利用者数は減少したものの、利用者満足度調査では高い水準を維持している。また、地域のお祭りへの協力、老人福祉センターに併設する東上野保育園の児童をイベントに招待する等、地域との交流を図っている。
(4)収入支出	A	予算は適切に執行されている。継続して管理経費の節減に努めており、収支は昨年度と同程度だった。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

<b>妥当</b>	各老人福祉館の統括や相互調整を行う施設として適切な運営がなされている。麻雀サロンの実施回数の増等、利用者の要望を取り入れて事業を実施している。
-----------	---

11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応

引き続き利用者のニーズ把握に努めながら、地域の高齢者の健康・生きがいづくりを推進する中心的な施設として、サービスの充実を図っていくことが求められる。また、新規利用者を増やすために積極的な周知に努める必要がある。